

## 市内で自然薯の収穫が最盛期を迎えます ～丹沢大山の麓で栽培された山の幸～

市内で自然薯の栽培を営む、自然薯家（西富岡 1377、中村 <sup>なかもら</sup> <sup>やすひと</sup> 保仁代表）で、自然薯の収穫作業についての取材の場を設けますのでお知らせします。



1. 日時 令和7年12月25日（木）午前10時～  
※雨天の場合は、翌日26日（金）午前10時～に延期します
2. 場所 自然薯家所有のほ場（三ノ宮地内）
3. 内容 板に沿ってまっすぐに伸びた自然薯を、畑から掘り出して収穫します
4. 「自然薯家」及び生産者について

代表の中村 保仁さんは昭和40年8月生まれ。横浜市在住。平成29年5月から伊勢原市で農業経営を始め、同年12月に青年等就農計画の認定を受け、認定新規就農者になりました。現在は、三ノ宮のほ場（92アール\*）で、約1万5,000本の自然薯を生産（令和6年実績）しています。

令和2年度に、全国商工会連合会が主催する「buyer's room（バイヤーズルーム）」で、「自然薯パウダー」と「丹沢大山そば（自然薯入り）」の2商品が審査員特別賞を受賞。駅ナカ クルリンハウス（伊勢原駅観光案内所）や道の駅（清川村）のほか、自然薯家ホームページからオンライン販売も行っています。

同社の自然薯や自然薯パウダー、丹沢大山そばは「日本遺産のまち伊勢原うまいものセレクト」に認定されているほか、ふるさと納税返礼品にも登録されています。

\*92アールのうち、約60アールで自然薯の生産を行い、残りの面積では次回の生産に向けて土壌のメンテナンスを実施

5. 取材について

取材・撮影を希望される場合は、【12月24日（水）正午】までに広報戦略課までご連絡ください。

担当・問い合わせ先

広報戦略課 0463-94-4864